

凡例

一、本書載する所、概ね余の實地視察せしものに係れり。然れとも人種、宗教、歴史等の如きは、東西の著書より正確と信したるものを採り、且つ諸先輩に質して筆を執れりと雖も、素より誤謬遺漏あるを免れざるべし。大方の諸君垂教を惜むなくんは幸甚。

一、片假名を以て記する人名は右傍に——を、地名は——を、其他の名詞は「」を、又原文には『』を附し、以て本文と混同するの虞なからしむ。

一、貨幣の制は、清國各地各、其制を異にし一定せず。故に兩、錢、分等を用ゐ、多くは其換算銅錢等を附したり。

一、里數は哩、露里、清里と特記するもの、外、總て邦里を以て記す。

一、溫度は華氏を以て示せり。

一、尺度は本邦の寸、尺、間、丈及佛尺、米突を用ふ。

一、衡は大抵我が制に換算せるも、間、清國の兩(我十)斤(十六)兩(我七)分(七)厘(十)坦(百)貫(百)斤(我十七)六